

## 第7回相互協力実務担当者研修会(報告用)

B 分科会記録 テーマ:「レファレンス:インタビュープロセスとレファレンス基本ツールについて」

参加:15校(16名)

全体会発表者:小川(桜花学園大学)

司会:酒井(金城学院大学)

参加委員:長坂(愛知大学)、足立(愛知学院大学)、酒井(金城学院大学)

記録:足立(愛知学院大学)

### 1. はじめに

各館のレファレンスの現状(別表参照)を含め、自己紹介を行いながら進行した。

### 2. 事例報告

配布資料に基づき、豊橋創造大学の川上雅子氏により事例報告。

レファレンス業務の環境と実際について具体事例をあげて話された後、現状の問題点・課題等述べていただき、問題提議とした。

### 3. 討議内容のまとめ

- (1) 事例報告から関連し、レファレンス記録のことがまず話題になり、レファレンス記録を蓄積することが現状では大切であるとの認識で一致した。
- (2) レファレンス対応の範囲については、質問の相手、目的によって回答を変える必要があることがあげられた。
- (3) レファレンスの際、気を付けることとして、インタビューに時間をかけ、利用者の質問をしっかりと聞き取り、正確に質問を受けることが大切である。
- (4) レファレンスツールを館員が熟知していることが大事である。実際にはレファレンサーに能力差が出てしまい、利用者へのサービス低下につながっている。
- (5) レファレンスツールについては、たとえば、調査する年代によってレファレンスツールを使い分けることも必要である。

### 4. 本によるレファレンス基本ツールについての解説

- (1) 和書について  
配布資料に基づき愛知学院大学の足立委員が解説した。
- (2) 洋書について  
配布資料に基づき愛知大学の長坂委員が解説した。

### 5. 最後に全員に一言ずつ感想を聞き、本分科会を終了した。

別表: 事前アンケートB 分科会調査表

## 第7回相互協力実務担当者研修会(館灯用)

B 分科会記録 テーマ:「レファレンス:インタビュープロセスとレファレンス基本ツールについて」

### 1. はじめに

各館のレファレンスの現状を含め、自己紹介を行いながら進行した。

### 2. 事例報告

配布資料に基づき、豊橋創造大学の川上雅子氏により事例報告。

レファレンス業務の環境と実際について具体事例をあげて話された後、現状の問題点・課題等述べていただき、問題提議とした。

### 3. 討議内容のまとめ

- (6) 事例報告から関連し、レファレンス記録のことがまず話題になり、レファレンス記録を蓄積することが現状では大切であるとの認識で一致した。
- (7) レファレンス対応の範囲については、質問の相手、目的によって回答を変える必要があることがあげられた。
- (8) レファレンスの際、気を付けることとして、インタビューに時間をかけ、利用者の質問をしっかりと聞き取り、正確に質問を受けることが大切である。
- (9) レファレンスツールを館員が熟知していることが大事である。実際にはレファレンサーに能力差が出てしまい、利用者へのサービス低下につながっている。
- (10) レファレンスツールについては、たとえば、調査する年代によってレファレンスツールを使い分けることも必要である。

### 4. 本によるレファレンス基本ツールについての解説

- (3) 和書について  
配布資料に基づき愛知学院大学の足立委員が解説した。
- (4) 洋書について  
配布資料に基づき愛知大学の長坂委員が解説した。

### 5. 最後に全員に一言ずつ感想を聞き、本分科会を終了した。